



# 森ボラ 通信

第153号 2015年2月20日発行

NPO法人 **北海道森林ボランティア協会**

URL <http://www.shinrin-npo.info/>

札幌市豊平区平岸1条1丁目9-6 ラルズビル3F

Tel. (fax.): (011) 816 - 7010

E-mail: hshinrin2002@nifty.com

## トピックス

### ◆ 冬季セミナー・「樹木葬をととした森林管理の可能性」

札幌市立大学講師（デザイン学部空間デザインコース）・上田裕文博士

2015年最初のセミナーはリンケージプラザから札幌エルプラザへと会場を変えて、1月21日に開かれました。前の会場に比べてやや手狭な部屋に参加者27名がびっしりと座って聞きました。上田先生は東京大学農学部林学科を経てドイツのカッセル大学で学ばれ、現在は札幌市立大学でご活躍中です。今回は森林利用型の樹木葬についてお話し頂きました。

#### 1. 樹木葬とは

樹木葬は散骨（細かく砕いた遺骨を海や陸上にまく行為）と異なり、墓地として認められた場所の地中に遺骨を埋葬する手法です。日本では埋葬法によって墓地以外での埋葬は禁止されています。自然観や死生観が変り、家族構成が多様化し、墓地の需要が増加する中、樹木葬墓地は、利用者にとっては自然回帰のシンボルや墓地の継承問題の解決策として、墓地提供側には墓地整備と環境保全の両立や国土計画としての新たな森林活用などの可能性を持つと考えられます。



#### 2. ドイツの樹木葬

ドイツの樹木葬墓地は2001年に初めてラインハルトの森の中に誕生しました。30ha以上の広さの広葉樹を主体とした混交林が森の形のまま使われ、これまでの墓地概念を覆して社会的なインパクトを与えました。その後はドイツ全土の500か所以上に広がり、火葬（土葬と半々）の1割が樹木葬になっています。使用する森は公有林や自治体の名義貸しを受けた民有地です。水源保安林を避ける、墓地の境界を明示するなどの規制があります。ドイツの特徴として、墓地の運営は自治体の認可を受けた運営会社（現在2社）が統一した形で行い、実際の管理は森林官と呼ばれる人が森林管理、見学案内、埋葬までを行います。埋葬の形は森の中にある高木の根元に自然分解タイプの骨壺に入れた遺骨を30センチほどの深さに埋め、名刺サイズのネームプレートを墓標として木に打ち付けるだけのものです。スライドで見ると、墓標も目立たずよく整備された静かな森でした。その中をゴルフカートに乗ってお参りする高齢者の姿が印象的でした。

#### 3. 日本の樹木葬墓地の課題

日本では岩手県の知勝院が1999年に初めて樹木葬墓地を敷地内に開設しました。管理は僧侶が行い、骨壺を使わず埋葬した遺骨の上に指定された樹種の中から一本の木を選び植樹し、木の立札を墓標とする形です。現在、日本の樹木葬墓地は50か所以上に広がりましたが、里山から庭園までの様々な形で管理される墓地です。森林利用型とは異なり、これまでの墓地のイメージの中で極めて限定的にしか展開できていない辺りが日本における樹木葬墓地の課題です。樹木葬墓地は本来お墓としての利用だけではなく、地域の森林資源の活用、さらには国土の利用や自然環境保全の仕組みにまで影響を与える可能性を持っているはずで

#### 4. 北海道での樹木葬の可能性

北海道は豊かな自然に恵まれ、自然回帰の樹木葬のイメージと重なります。また混交林が多く、

平地林も多いという景観的、地理的な条件もあります。明治以降の移民が多く、日本の伝統的な家族墓への執着が比較的弱いと考えられ、森林利用型の樹木葬墓地の展開が期待されます。

「樹木葬をととして地域の森を死後の住処と覚えることが出来れば、自然環境の整備を他人事ではなく自分事として考える人が増えて来るのではないのでしょうか」との結びの話に共感を覚えました。育ててきた澄川の森の木の下に眠ることができたら私は夢見ますが、皆さんはいかがでしょうか？ 森ボラの定款に「樹木葬」の言葉があることを知っていましたか？

森林利用型の樹木葬墓地の管理に森ボラが協力できる日の来ることを願っています。

上田先生有難うございました。(文・佐野)

## ■ 活動報告

### ◆2015年新春・澄川都市環境林で活動開始

1月14日(水) 目映いばかりの日差しの中、森ボラ仲間22人が澄川都市環境林に集合し、今年の活動が本格的に始まりました。まずは先週から積もった雪を、ママさんダンプ、ショベルを使って、ベンチ周り、物置小屋、テント小屋の除雪作業を30分程行い心地よい汗を流しました。朝礼の後ラジオ体操で体をほぐし、道具類を準備して今日の主要テーマの「伐木、掛木<sup>かかりぎ</sup>処理安全講習」の現場C-4地区に向かいました。スノーシューの足取りも軽やかに、途中のキツネ、ウサギなどの動物足跡を同定しながら楽しい散策でした。安全講習では酒井代表を講師に、



写真-1 ラジオ体操

伐木の基本の伐倒方向の定め方、掛木の場合の処理方法について実技を交えながら学びました。現場ではイヌエンジュが2本重なった状態でしたので、山側の木から1本ずつ、ワイヤーを張りながら受け口を作り、追い口から伐倒しました。掛木になったのでチルホール(携帯型ウインチ)を使って引っ張り、地面についてから玉切りにしました。我々ボランティアは自己責任において作業をするのが原則です。倒す樹木の周囲、ワイヤーの索引方向などに常に注意して安全に作業を進めましょう。効率は



写真-2 安全講習

求めないことを、皆で確認し合いました。

昼食は持参の弁当の他に、ソバ、うどんなどの汁物の提供があり、気持ちの良い天候の中で心も暖かくなりました。午後の作業は前回に引き続きコクワのツルを使ったカンジキ作りと避難小屋の木工作业です。カンジキ作りは昨年末に澄川で採取した蔓を長さ80cmに切りそろえ、膝を使って<sup>の</sup>熨しながら曲げ、カンジキの形にします。太いツルは上側、細いツルは下側にして左右で一組とします。今までに20組程出来まし



写真-3 カンジキ作り、木工作业

ので乾燥した後、組みひも作業は冬の森林教室に訪れる近郊の小学生にお願いする予定です。

避難小屋造作作業は、リュックサック掛けの作成です。細かな木工作业が得意な西野さんをプロジェクトリーダーに、皆で協力して作業を続けています。完成を楽しみにしましょう。(文・樫棒)

## ◆澄川都市環境林に林内案内看板を設置しました

澄川都市環境林 65ha の概要図を記したボードは A1 サイズでホワイトボードに納められ第 2 物置に設置し、会員は勿論初めての訪問者でも一目で広い林内の概要が分かるようになりました。早速 27 日の朝礼で作業場所の A-4 に今日の作業と書かれたマグネットが貼られお披露目となりました。発案、製作者の樞棒さん有難うございました。

また同じ物が事務所用として作られ、幹事会で活用して行きます。(文・事務局)



## ◆ 澄川南小学校 4年生とカンジキ作り

2月3日澄川南小学校視聴覚教室で52名の4年生から挨拶を受けた後、5班にわかれ当会員も2名づつ子供たちの補助に付いて酒井さんの指導により始まりました。

木と草の違いを子供たちに問いかけ、カンジキ材料としてのコクワの木が森の樹木

に与える影響も説明に取り入れながら進めて、いよいよ曲げにとりかかると俺もやってみたく言う子が大半で意外でした。



次に長さ調整でコクワの木を鋸で切らずと挽き方を見ておそらく鋸で切る事が初めてな子も多い様に思えました。途中休憩時間を挟んで紐張に入ると曲げ作業では遠慮がちな子も加わり簡単にこなす子、手こずる子もいましたが何とか今回は16組のカンジキを完成させ1学年分を3年計画で作る目途が付きました。最後に各組1名の方から感想と4年生の代表から下記のお礼の言葉を頂きました。

□「今日はカンジキづくりを教えてくださいましてありがとうございます。たのしみなことは自分で作ったカンジキをはいて山の中を歩くことです。じかいてもまたよろしくおねがいします。」□

このお礼の中にもありますが2月24日(4年生)、3月3日(2年生)にカンジキを履いて山の中を散策します。子供たちの楽しそうな顔が浮かんできます。

澄川南小学校の教頭先生、石川先生他関係下さった先生有難うございました。

参加された当協会の皆さん有難うございました。又、散策の時も宜しくお願い致します。

今回のカンジキ作りの話は昨年からの計画を進めている親子森林教室の勧誘に繋がればと思って昨年11月頃から教頭先生に接触して冬には近くの森で散策を行っている話を聞き、それならば我々近くでボランティア活動を行っているので利用しませんかという話になりまずはカンジキ作りからと言う事で本日の講習になりました。(文・大窪)



## ■今月の幹事会

出席者：市山・大窪・荻田・樞棒・酒井・佐野・高野・釣井・矢澤・和田

1. 2015年3月、4月スケジュール・・・幹事会 3月6日（金）
2. 親子森林教室（森しり隊）報告
  - ・会員例会（2/12）で親子森林教室の主旨と役割分担発表。
  - ・2/3の澄川南小学校4年生のかんじき講習会は素晴らしい体験学習でした。
  - ・紅桜公園 澄川南小4年生（2/24）2年生（3/3）野外学習の引率マニュアル作成検討。
3. 森林・山林多面的発揮機能対策進行状況
  - ・林内案内看板を林内に8カ所に設置して行く。
  - ・ホダ木準備（中流橋付近）ミズナラ：120本、シラカンバ：120本、ニセアカシア：50本
4. 2015年度支笏湖の国有林とCGCの森活動計画 … 5月14日（水）林道、雪害等の植生調査
  - ・5月：3回、6月：4回、7月：4回、8月：4回、9月：4回、10月：2回の19回活動予定。
  - ・水明郷のオッパイ山と烏柵舞の人力地区の下草刈りはツボ刈りで対応して行く。
5. 作業を円滑かつ安全に進めるために … プロジェクト別現場リーダー制度導入の試行、プロジェクトを澄川一般、CGC・ローソン、多面事業、幌南の森、森林教室、リンゴ園、日程総括に分けて3月から現場リーダー制でスタートさせ5月に見直しを図る。日報報告を幹事メンバーからPCを持っている会員に広げて行く。（集計責任者：樞棒）
6. 委員会報告
  - ・業務委員会 … 年間スケジュール案了解。
  - ・助成委員会 … 2015年高原環境財団と第14回トムソーヤースクール企画コンクール応募検討。
  - ・研修委員会 … 2/12は会員例会と救急救命講習。  
3/18親子森林教室関連のセミナー。  
研修旅行委員は釣井幹事。宜しくお願いします。
7. その他
  - ・北海道山林種苗共同組合青年部の苗木支給の件
  - ・1月会計報告

## ■ 活動履歴

活動日	行事・活動地	参加数	活動内容
1月16日（金）	澄川	12	C-4 チェンソ班、手ノコ班に別れて間伐
1月21日（水）	札幌エルプラザ	26	会員例会：多面对策事業報告・樞棒幹事 セミナー：樹木葬をとおした森林管理 講師：上田裕文先生（札幌市立大学）
1月23日（金）	澄川	11	C-4 チェンソ班、手ノコ班に別れて間伐
1月27日（火）	澄川	13	澄川林内案内看板を第二物置に設置
1月30日（金）	澄川	13	A-4 間伐（間伐本数68本、材積量4.5m <sup>3</sup> ）
2月 3日（火）	澄川南小学校	11	4年生52名かんじき作り講習会支援
2月 6日（金）	ラルズビル	10	幹事会
2月10日（火）	澄川・紅桜公園	17	A-4 ニセアカ除伐・紅桜公園林内視察